

〔問 1〕

次の（１）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問 2〕

次の（１）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問 3〕

次の（１）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問 4〕

次の（１）から（10）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問 5〕

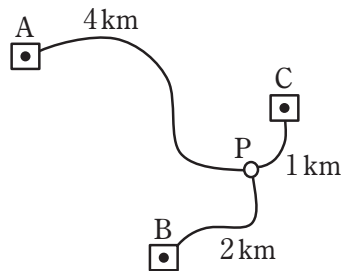
近年、農業分野では、全国的に担い手の減少や高齢化が進んでおり、大阪府においても今後一層労働力不足が深刻化すると考えられる。これらの課題に対応するため、ロボット技術や ICT を活用した省力化に寄与するスマート農業の導入が必要となっている。

また、大阪農業の特徴の一つである施設園芸では、さらなる高収量・高品質生産が求められており、農作物に最も適した環境を作り出すことが重要である。

そこで、大阪府技術職員の立場から、スマート農業を導入するにあたり、必要な農地や水路など農業生産基盤の具体的な整備内容を提案し、それにより期待される効果を述べなさい。

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題 1 図のように、三つの水準点 A～C から点 P の標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点 P の標高の最確値はいくらか。



水準点	点 P の測定値 [m]	点 P との距離 [km]
A	12. 416	4
B	12. 412	2
C	12. 425	1

1. 12. 418 m
2. 12. 419 m
3. 12. 420 m
4. 12. 421 m
5. 12. 422 m

【正 答： 3】

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題2 耕盤に関する次の記述A～Dの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- A. 耕盤の形成は透水性を高め、降下浸透を増大させる効果があるため、水田が有する地下水涵養機能を向上させる。
- B. 畑作農業では、耕盤のない圃場が好まれるが、水田農業では、心土と作土の間に耕盤を形成して苗を移植（田植え）する栽培方法が発達した。
- C. 湛水前の田面の耕耘などの作業では、農業機械の車輪は主として作土直下の耕盤によって支持されるが、湛水条件下で行われる代かきなどの作業では、車輪は主として作土層である表層によって支持される。
- D. 耕盤があることで、作土内での灌漑水や肥料の利用効率が高まり、水稻の安定した収量を期待することができる。

	A	B	C	D
1.	正	正	誤	正
2.	正	誤	正	誤
3.	誤	正	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	誤	誤	誤	正

【正答：4】